

2025年10月3日
ルアンルアンコスメ

バクチオールとスキンケアの新常識



Ruam Ruam Cosme
ルアンルアン コスメ



バクチオールとスキンケアの 新常識

■ 概要

はじめに。

スキンケアの世界では、次々と新しい成分が注目されます。

その中で近年、美容業界や愛用者から熱い視線を集めているのが「**バクチオール**」です。

本記事では、バクチオールの基本的な知識から、スキンケアに取り入れる方法、選び方のポイント、

そしてクレンジングとの関係まで幅広く解説していきます。

天然成分に興味がある方、やさしいスキンケアを探している方にとって、新しい発見となる情報をお届けで

ければ幸いです。

■ バクチオールとは何か



バクチオールはインドや東南アジアに自生する植物「バブチ（オランダビユ）」の種子から抽出される天然成分です。

長い歴史のなかで伝統的なハーブとして親しまれてきた背景があり、近年になってスキンケアとの相性が再評価されるようになりました。

注目されている理由のひとつは、バクチオールが「植物由来」でありながら、美容成分としてさまざまな研究が進められている点にあります。

特にレチノールと比較されることが多く、同じようにエイジングケア分野で語られるケースが多いのが特徴です。レチノールは長年人気のある成分ですが、使い方に注意が必要な場合もあります。

一方、バクチオールは植物由来ということもあり、敏感な肌を持つ方にも取り入れやすい選択肢として期待されています。

そのため、世界中のスキンケアブランドが続々と製品に配合しはじめ、多くの人々から「次世代の美容成分」として認識されつつあります。

■ バクチオールが求められる理由



では、なぜ今これほどまでにバクチオールが注目されているのでしょうか。
背景には、現代人のライフスタイルや環境の変化があります。

1. 敏感肌の人が増えている

生活習慣の乱れやストレス、紫外線や大気汚染といった外的要因によって、肌のコンディションがゆらぎやすくなる人が増えています。

そうしたなかで「やさしく取り入れられる美容成分」が求められるようになりました。
バクチオールは植物由来であり、こうしたニーズに合致する点が評価されています。

2. 年齢を重ねた肌への関心

30代以降になると、肌のハリやうるおいの変化を感じやすくなります。

そのため「未来の素肌のために、どのような成分を選ぶか」という視点が大切になります。

バクチオールはエイジングケア分野でも語られることが多く、ナチュラル志向の方から特に支持を集めています。

3. 世界的なトレンド

欧米をはじめ、世界的にナチュラルコスメやサステナブルな素材が好まれる流れがあります。

バクチオールは植物由来で持続可能性の観点からも注目され、国際的に採用が広がっています。

■ バクチオールを取り入れたスキンケアの魅力



バクチオールは、さまざまな製品に配合されはじめています。その形態によって使い方やアプローチは変わりますが、共通しているのは「毎日のスキンケアに自然に組み込める」という点です。

1. 化粧水に配合されたバクチオール

化粧水に含まれる場合、洗顔後のファーストステップとして肌になじませやすいのが特徴です。水分とともに植物成分を取り入れることで、次に使うアイテムのなじみを助けるような役割も期待できます。

2. 美容液に配合されたバクチオール

美容液は、成分を集中的に届けたい方におすすめの形態です。夜のケアに取り入れる方も多く、肌をゆったりと休ませる時間に合わせて使うことで充実したスキンケア習慣につながります。

3. クリームに配合されたバクチオール

クリームは保湿とともに、肌を守る役割を担います。バクチオール入りのクリームは仕上げとして使うことで、しっとりとしたうるおい感を長時間保ちやすくなります。

4. 他成分との組み合わせ

バクチオールは単独での利用だけでなく、ヒアルロン酸やセラミド、ビタミン C 誘導体などと組み合わせられることが多いです。これにより、多角的なケアが可能となり、自分の肌に合ったバランスを探す楽しみもあります。

■ バクチオールとライフスタイル



スキンケアは単なる外側からのアプローチだけではなく、生活習慣とのバランスによって効果を発揮しやすくなります。バクチオールを取り入れる際にも、日常生活の工夫が大切です。

食生活との関わり

バクチオールのような美容成分を活かすには、ビタミンやミネラルを意識した食事が欠かせません。特にビタミン C や E を含む食材は、植物成分と相性が良いといわれています。

睡眠とリズム

肌は夜の間にも育まれます。バクチオールを使うタイミングを夜のスキンケアに組み込むことで、睡眠中のスキンケアが期待できます。

紫外線対策との関係

バクチオール自体は日中も使いやすい成分ですが、紫外線対策を並行して行うことでより満足度の高いスキンケア習慣をつくれます。

■ バクチオールを選ぶときの注意点



バクチオールが含まれているからといって、どんな製品でも同じというわけではありません。選び方のポイントを知ることで、自分に合った製品を見極めやすくなります。

1. 配合濃度

濃度が高ければ良いわけではありません。肌の状態に合わせて、ほどよいバランスで配合されているかを確認することが大切です。

2. 安定性

植物由来の成分は、保存方法や処方によって安定性が変わる場合があります。信頼できるブランドや製法を選ぶことで、安心して使い続けられます。

3. 自分に合った形態

化粧水・美容液・クリームといった形態ごとに使い勝手が異なります。ライフスタイルや肌の状態に合うアイテムを選ぶと継続しやすくなります。

■ クレンジングとの関係



バクチオールをはじめとする美容成分を活かすには、まず肌の土台を整えることが欠かせません。

そのために大切なのが「クレンジング」です。

メイクや皮脂汚れが肌に残っていると、美容成分を取り入れる準備が整わず、せっかくのスキンケアも満足度が下がってしまいます。

だからこそ、バクチオールを取り入れる前段階として、やさしく汚れを落とすクレンジングが必要とされるのです。

特に敏感肌や乾燥しやすい肌の方は、落とすすぎないクレンジングを選ぶことがポイントです。

やさしく洗い流しながらうるおいを守ることができれば、その後のスキンケアもスムーズになります。

■まとめとおすすめ



バクチオールは、天然由来でありながら現代のスキンケアに求められる条件を兼ね備えた注目成分です。敏感肌や年齢を重ねた肌にも寄り添う選択肢として、今後ますます取り入れる人が増えていくでしょう。

そして、このバクチオールを日常のケアに取り入れるうえで欠かせないのが「クレンジング」です。汚れをやさしく落としながら、美容成分を受け入れるための肌の準備を整えることが、毎日のスキンケアを心地よい時間にしてくれます。

そこでおすすめしたいのが、[ルアンルアン](#)のクレンジングミルクです。

このクレンジングミルクには、バクチオールが配合されており、植物由来のやさしさと先進的な美容成分を同時に取り入れることができます。やわらかなミルクが肌になじみ、しっとりとした洗い上がりを目指せるため、バクチオールを日々のスキンケアに無理なく組み込みたい方にぴったりです。

「バクチオールを試してみたいけれど、まずは毎日のクレンジングから取り入れてみたい」
そんな方に、[ルアンルアン](#)のクレンジングミルクは心強いパートナーとなるでしょう。

■ お問い合わせ先

店 名：ルアンルアンコスメ オンラインショップ

U R L：<https://shop.ruamruam.jp/>

M A I L：cosme@ruamruam.jp

電話番号：0120-1842-82

会 社 名：株式会社ボックスグループ

住 所：〒336-0033 埼玉県さいたま市南区曲本 3-2-2

事業内容：タイのハーブ学から発祥したコスメブランド“ルアンルアン”をはじめとした、化粧品、
雑貨の製造・販売を行っており、「生せっけん」のリーディングブランドとして、現在はオンライン
ショップや大手 EC サイトを中心に展開しています。

特に薄肌で繊細だと言われているアジアの女性たちに向け、タイハーブや天然泥などの力
強い自然素材を活かし、無添加で“お肌の負担が少なく、悩みに強い”製品をお届けする
のが私たちの使命と考えています。